

会 議 記 録				
会 議 の 名 称	議 会 運 営 委 員 会			会 議 場 所 第 3 委 員 会 室
				担 当 職 員 阿 久 根 由 美 子
日 時	平 成 2 6 年 4 月 2 5 日 (金 曜 日)			開 議 午 前 1 0 時 0 0 分
				閉 議 午 前 1 1 時 0 5 分
出 席 委 員	湊 ○ 藤 本 並 河 中 村 馬 場 菱 田 西 村 石 野 < 明 田 議 長、小 島 副 議 長 >			
執 行 機 関 出 席 者				
事 務 局 出 席 者	藤 村 局 長、山 内 次 長、山 崎 係 長、三 宅 主 任、阿 久 根			
傍 聴	可	市 民 1 名	報 道 関 係 者 1 名	議 員 1 名 (井 上)

会 議 の 概 要

1 0 : 0 0

〔 湊 委 員 長 開 議 〕

1 定 数 ・ 報 酬 に つ い て

(1) 適 正 な 定 数 と 報 酬 額 に つ い て

< 湊 委 員 長 >

各 会 派 の 意 見 を 報 告 願 う。

< 菱 田 委 員 >

定 数 減 と 増 ど ち ら の 意 見 も あ る。定 数 減 の 場 合 に は 報 酬 を 増 額 す れ ば よ い。

< 馬 場 委 員 >

定 数 は 3 常 任 委 員 会 × 8 人 + 議 長、監 査 委 員 の 現 行 が シ ン プ ル で よ い。過 去 に 減 数 し て き た。増 数 の 意 見 も あ る。報 酬 は 少 な い と 感 じ る が 議 員 だ け で 検 討 す る の は よ く な い。審 議 会 に 諮 問 す る べ き。

< 中 村 委 員 >

定 数 は 3 常 任 委 員 会 × 7 人 + 議 長、監 査 委 員 の 2 3 人。報 酬 は 現 行 の ま ま か、定 数 減 に 伴 い 検 討 す れ ば よ い と い う 意 見 で あ る。常 任 委 員 7 人 と な っ た 場 合 は 常 任 委 員 会 機 能 の 充 実 を 検 討 す る べ き。

< 中 澤 委 員 >

定 数 は 2 4 人、報 酬 は 現 行 の と お り が 適 正 の 意 見 で あ る。

< 藤 本 副 委 員 長 >

定 数 は 3 常 任 委 員 会 × 7 人 + 議 長、監 査 委 員 の 2 3 人 を 下 限 に す る べ き と の 意 見 で あ る。議 員 1 人 当 た り の 人 口 や 市 域 か ら 見 て 全 国 平 均 並 み で あ る。報 酬 は 外 部 の 意 見 を 聞 い て 議 論 す る べ き。

< 石 野 委 員 >

か つ て の 法 定 定 数 3 0 人 か ら 2 割 削 減 し て 2 4 人 の 意 見 で あ る。議 会 運 営 に 支 障 は な い。定 数 削 減 分 を 報 酬 増 額 に と の 意 見 も あ る が、議 会 提 案 政 策 経 費 や ま ち づ く り 補 助 金 な ど に 充 て る の が よ い と 思 う。報 酬 審 議 会 等 で 議 論 し て も ら う の が よ い。

(2) 今 後 の 進 め 方

< 湊 委 員 長 >

次は、全員協議会でまとめた今日の意見を新たな論点として議論を行う。

<馬場委員>

まとめた意見を公表すればよいと思うがどうか。

<湊委員長>

公表はするが、議員の考えが議論のなかで変わっていくこともあるのもう少し待って公表すればよいと考えている。

<中澤委員>

いずれは公表すればよい。会派で意見の根拠もまとめたので聞いてもらいたい。

<湊委員長>

議論は全員協議会で深める。簡潔に願う。

<中澤委員>

(定数について)監視機能の面では2~4人減っても支障はない。監視機能面では執行部の適切な説明、報告等仕組みを工夫し議員の資質向上を図れば対応できる。立法機能は定数に関係ない。ただし事務局の強化は必要である。基本条例の面では、定数減で議員の覚悟が見せられる。市民意見聴取では自治会、各種団体の活動が本市は活発なので(議員が接触することで)ニーズ把握ができる。人口、市域の面では、減数の幅をおさえ2~4人とした。委員会構成は3常任委員会×7人で議長、副議長、監査委員を加え24人が適正である。報酬に関しては議員力を上げるため政務活動費増額も検討できればと思うが、今は時期尚早である。

<事務局長>

議運の会議録は公開である。傍聴もあり今開示でよいのか。

<湊委員長>

議員個々の意見を尊重するのが大前提である。会派でも一致していないので全員協議会で意見を聞く。最終的には開示であるが現段階は最終の意見でない。

<馬場委員>

意思形成過程での意見を出している。最終の意見でないことを周知して公表すればよい。

<湊委員長>

9月定例会での改正を考えスケジュールを組む。5月初旬全員協議会で議員個々の意見を聞き、その後議運でまとめる、最終的には全員協議会で採決し素案確定という流れを考えている。市民意見聴取はパブリックコメントの募集と参考人制度活用により意見を聞くことでどうかと考えている。

<中村委員>

全員協議会では監視機能等の論点で議論するのか、自由に意見を出すのか、経過もありまとめづらくはないのか。

<湊委員長>

論点からの議論ではない。今日の意見を基に議論する。先に述べた流れでよいのか。

<明田議長>

全員協議会の日程をいつに考えているのか。

[全員協議会日程調整、5月8日午後1時~に決定]

<湊委員長>

5月中ごろ議運、5月末か6月初めに全員協議会を考えている。パブコメ募集について意見は。

<馬場委員>

視察した所沢市議会でも行われていた。すればよい。

< 湊委員長 >

パブコメ募集を決定する。所沢市議会視察で外部意見を聞く場を持つことが重要だと学んだところである。わがまちトークで意見を聞くか、大学の有識者を参考人に素案について意見を聞くか、意見を。

< 菱田委員 >

市民に入ってもらうのも方法でもある。事前に意見を聞き人選して公聴会を開いてはどうか。機会を作るべき。

< 馬場委員 >

やり方は会派に持ち帰り検討したい。即決で決めるなら委員長の案でよいと思うが。

< 中村委員 >

市民の意見を聞く場は必要である。困難なことも想定されるが避けられない。

< 中澤委員 >

パブコメ募集はすべき。有識者又は各種団体の意見を聞く場を設けてはどうか。市民の人選は難しいと思う。会派でも検討したい。

< 藤本副委員長 >

わがまちトークで意見を聞くと反対意見が多いと思う。賛成市民、反対市民と有識者で審議してもらえばどうか。会派に持ち帰り検討したい。

< 石野委員 >

所沢市議会のように偏りなく意見が聞ければと思う。

< 湊委員長 >

会派に持ち帰り検討願う。「2 視察について」は後で議題とする。

3 その他

(1) 一般質問通告書について

< 事務局長 >

横長を縦長の様式に変更願いたい。

〔全員 了〕

(2) 表決棄権の場合の会議録記載について

< 事務局長 >

本会議での入場、退場は会議録には記載しない。先の3月定例会では棄権者がいるものの全員賛成となり会議録上は棄権者も賛成したように見える。賛否を議会だより等で公表しているので齟齬が生じる。棄権の際には「〇〇議員棄権（退場）」と記載すればよいと思うが、協議願う。決定すれば申合せとなる。

< 馬場委員 >

退場したタイミングが分かるよう記載願う。

< 事務局長 >

退場、入場したタイミングで会議録に記載する。

< 菱田委員 >

除斥の場合はどうか。

< 事務局長 >

記載している。

(3) 26 年 12 月定例会について

< 事務局長 >

改選前の12月定例会の日程を検討している。一般質問3日間、常任委員会同時開催で日程を検討してもよい。

〔全員 了〕

2 視察について

< 湊委員長 >

大津市議会視察の感想を述べてもらう。

< 菱田委員 >

（政策検討会議）わがまちトークのなかで取り組みつつある内容で、充実していけば同様のものが本市議会もできる。

（通年議会）費用弁償が課題とのことであったが、本市議会には費用弁償がないので通年議会は実現できるものと感じた。今の議会活動と比べ大きく変わるものでもない。今後議論すべきである。定数改正は参考になった。

< 馬場委員 >

（政策検討会議）条例制定等の成果を出すためには専門的知見の活用が重要だと感じた。本市議会でも大学とのパートナーシップ導入を検討すればよいと思う。

（通年議会）本会議の回数を増やさず適時にできる通年議会がよいと思う。適時に本会議が開催できる担保があれば今性急にしなくてもよいと思う。

< 中村委員 >

（政策検討会議）常任委員会の所管調査で十分できる感じがした。

（通年議会）補正予算等効果的で検討すればよいと思う。本市議会での導入も可能であると思う。

< 中澤委員 >

（政策検討会議）議員の意識改革、資質向上が必要である。

（通年議会）止めた議会もあるので十分研究しないといけない。先進地の例ではデメリットの方が多かったように思う。慎重に取り組む必要がある。

< 藤本副委員長 >

（政策検討会議）行政に言っても条例はなかなかできないので検討していけばよいと思う。議会の諮問機関として大学とのパートナーシップ協定を検討すればよいと思う。

（通年議会）実施の市議会はまだ少ないが、災害対応、専決処分の点からも検討していけばよいと思う。市民要望にも応えられるなら検討していけばよいと思う。

< 石野委員 >

（政策検討会議）導入の際には他の先進地事例も研究して考えるべき。

（通年議会）議員、職員の時間を拘束するのでよく検討する必要がある。

< 湊委員長 >

意見をまとめると、政策検討会議について一定成果が見られるが、大学等専門家からの意見聴取や議員の意識改革が重要である。通年議会については、制度はよいと思うが実施方法はよく考えないといけない。メリット、デメリットを考え検討する必要がある。次に、所沢市議会の視察について、意見を。

< 菱田委員 >

（定数改正）失敗談も聞かせてもらい参考になった。

（政策討論会）本市議会も同様の取り組みをしている、深めていけばよい。

< 馬場委員 >

（定数改正）任期の前半で見直されたのはよいことである。市域が大きい市議会では

- 定数削減をされていないこともこの視察に関連して勉強するなかで知った。
- （政策討論会）実施は難しいと感じた。常任委員会で立案できるようにすればよいと思う。
- <中村委員>
- （定数改正）市民意見を聞くことは必要で、重要である。今後もしっかり検討していきたい。
- （政策討論会）道半ばという印象である。参加人数が少ないことが課題なのは本市議会も同じで参考になった。
- <中澤委員>
- （定数改正）説明では本音を言い過ぎだと感じた。パブリックコメントの内容を聞いていないが、当分の間 33 人に改正されたのは勇断だと思う。
- （政策討論会）狙いはよいと思う。
- <藤本副委員長>
- （定数改正）検討のプロセスは参考になった。
- （政策討論会）効果があがっていないと感じた。常任委員会を充実させればよいと思う。
- <石野委員>
- （定数改正）市民意見聴取について参考になった。
- （政策討論会）テーマ設定が難しいと思った。
- <湊委員長>
- 意見をまとめると、定数改正については市民意見聴取の重要性、検討の時期など参考になった。政策討論会についてはもうひとつであると感じており、本市議会では独自のやり方で前進を図りたい。
- <馬場委員>
- 京都パープルサンガとの協定について議会の関与がないのはどうか。
- <湊委員長>
- 議長、副議長において取り計らいを願う。
- <明田議長>
- 知っていることがあるなら述べてもらいたい。
- <馬場委員>
- ホームタウン協定とフレンドシップ協定がある。プロのサッカーチームは営利目的であり、自治体が協定を結ぶのはどうか。
- <明田議長>
- 整理したい。
- <中村委員>
- 他事例も多くある。法的な問題はないと思う。
- <馬場委員>
- 問題意識として持っている。市民への情報がもっと公開されないと議会は関わりようがない。サービス券が来るのかなど具体的な話もあればよいと思った。
- <湊委員長>
- 詳しいことが今は分かっていない。正副議長で整理願う。
- <事務局>
- 次回議運の日程を調整願う。
- <湊委員長>

15 日又は 16 日で調整する。追って連絡する。

散会 11:05